

# 2020年度秋学期派遣 立命館アジア太平洋大学 交流学生募集要項

立命館大学と立命館アジア太平洋大学（APU）は、双方の教育を活かし、両大学における教育の一層の充実を図ることを目的としています。

交流学生プログラムは、立命館アジア太平洋大学（大分県別府市）に半年あるいは1年間「特別聴講生（交流学生）」として授業科目の受講および単位の取得ができる制度です（秋学期派遣は半年のみ）。立命館アジア太平洋大学での勉学および学生交流を通じて、皆さんの多様な学問的好奇心に応えることができるプログラムとなっています。

この期間は在学期間に算入され、取得した単位は、基本的に本学の所属する学部において認定され、卒業に必要な単位として算入されます。

※2020年4月現在、政府による新型インフルエンザ等対策特別措置法にもとづく「緊急事態宣言」が全国に発令されています。秋学期派遣においては、下記の通り募集を行いますが、交流プログラムの実施可否の最終判断については、6月下旬に行います。

## I. プログラム概要

### 1. 本プログラムの目的

- (1) 双方の教育資源を活かし、両大学における教育内容の一層の充実
- (2) 双方の学生交流の促進

### 2. 期待される APU での学習効果

- (1) 英語で行われる授業の履修を通じた英語力向上やプレゼンテーション能力向上
- (2) 国際学生との交流を通じた他国の文化や考え方を理解する力の向上
- (3) 上記の能力向上により海外留学の準備

### 3. 派遣期間

秋学期（2020年9月26日～2021年3月31日）

### 4. 募集人数

10名

### 5. 派遣先学部

アジア太平洋学部（APS）または、国際経営学部（APM）

### 6. APU での身分

特別聴講学生

### 7. 単位認定

単位取得した科目のみ以下の通りT評価で認定します。（F評価は認定しない）

- ・同一内容と認められる科目については、所属大学の設置科目の単位として認定（T）。
- ・同一内容と認められない科目については、教養科目（基礎科目、基礎教育科目）、専門

科目（演習含む）とも、それぞれ「APU 交流科目」の単位として認定（T）。ただし総合心理学部生は「APU 交流科目」での単位認定は不可。

## 8. 単位認定の上限

APU での登録単位数と立命館大学で認定される単位数には以下の通り上限があります

派遣期間	APU での受講登録上限単位数（目安）	立命館大学での単位認定上限単位数
秋学期	所属学部・回生の年間受講登録上限単位数の半数 あるいは 所属学部・回生のセメスター受講登録上限単位数	60 単位以内※

※ 単位互換科目、立命館アジア太平洋大学、海外留学、入学前単位認定など他大学で認定された単位数を含んで 60 単位以内です（編入学、転学等を除く）。特に、過去に海外留学を終えて単位を認定されたことのある方は注意をしてください。

## 9. 学費

学費については、通常どおり立命館大学に納付することになります。また、社会人学生授業料納入特例措置を受けている場合については、継続して特例措置を受けることができます。

## 10. 履修可能科目

アジア太平洋学部（APS）または、国際経営学部（APM）の 2017 年度カリキュラムの科目が履修可能です。基本的にはすべての開講科目が履修できますが、以下の通り、履修できる科目に制限があります。

### 【履修不可科目】

APS・APM 共通	スタディスキル＆アカデミックライティング
	多文化協働ワークショップ
	APS 入門
	ピアリーダートレーニング入門
	ブリッジプログラム
	一部の事前申請科目
APS	グローバルマネジメント（Capstone）
APM	調査・研究入門
	基礎演習（環境・開発）
	基礎演習（観光学）
	基礎演習（国際関係）
	基礎演習（文化・社会・メディア）

### 【その他履修制限】

#### ① 英語の言語クラス

受講不可。

ただし、以下の基準を満たしている場合のみ、スタンダードトラックの専修英語科目（「英語ビジネス・ライティング」「英語ビジネス・プレゼンテーション」「英語ディスカッションとディベート」「英語プロジェクト 1」「ジャーナリズムのための英語」）の受講可。

- ・ TOEFL iBT 61 以上
- ・ TOEFL PBT 500 以上
- ・ TOEFL CBT 173 以上
- ・ TOEIC L350/R340, S145/W140 以上
- ・ IELTS 5.5 以上
- ・ PTE Academic 44 以上

- ② アジア太平洋言語（AP 言語）  
中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語、マレー語・インドネシア語、スペイン語の6言語を開講。定員に空きがある場合のみ、受講可能。
- ③ 当該学生の母語である言語科目  
履修不可
- ④ 英語で開講される専門科目の受講  
受講可  
(目安として、TOEFL ITP®テスト 480 点相当以上の言語運用能力を想定して授業が行われる。)
- ⑤ セッション科目（集中講義）  
春学期派遣は夏セッションのみ、秋学期派遣は冬セッションのみ、通年派遣は夏セッションと冬セッションを受講できる。
- ⑥ 演習科目  
3回生演習については学生の申請に基づき、担当教員が履修の可否を判断する。

立命館アジア太平洋大学の情報は、立命館アジア太平洋大学のホームページで参照できます。なお、履修希望の科目シラバスは、履修ハンドブック（2017年度カリキュラム）を確認の上、履修希望の科目名称をシラバスに入力し、確認してください。  
これらの情報をもとに、履修希望科目について各自、検討してください。

■立命館アジア太平洋大学のホームページ

<http://www.apu.ac.jp>

■APU 履修関連ホームページ（2017年度カリキュラムを選択してください）

<http://www.apu.ac.jp/academic/>

履修ハンドブック、シラバスへのリンクがあります。

■履修ハンドブック「2. カリキュラム」開講科目一覧（PDF60ページから67ページ）

[http://www.apu.ac.jp/academic/uploads/fckeditor/public/handbook/2018Handbook/2\\_Curriculum\\_J.pdf](http://www.apu.ac.jp/academic/uploads/fckeditor/public/handbook/2018Handbook/2_Curriculum_J.pdf)

■シラバス

<https://portal2.apu.ac.jp/campusp/slbsskgr.do>

## 1.1. 住居

立命館アジア太平洋大学の学生寮（APハウス3もしくはAPハウス4）を利用できます。寮費は、下表の通りです。学生寮への入寮を希望する場合は、出願票に希望順位を明記してください。派遣許可発表時に、入寮の可否を合わせて発表します。  
寮費は派遣開始前に、一括で納入（振込）していただきます。

### 【寮費（入寮期間：2020年9月中旬～2021年2月中旬の5ヶ月間）】

	APハウス3	APハウス4
月額	¥28,000 (住居費¥21,000、共益¥7,000)	¥49,000
入寮費	不要	¥33,000
5ヶ月分	¥28,000×5ヶ月=¥140,000	¥49,000×5ヶ月=¥245,000
合計	¥140,000	¥278,000

備考	電気使用量は別途実費	電気使用量を含む
----	------------	----------

※入寮期間を超過して退寮する場合、1ヶ月分の寮費が必要となります。又、入寮期間満了前に退寮する場合、寮費は返金しません。注意してください。

#### 【APハウス3】

オフキャンパスにある学生寮です。APUまでバスで10分、亀川商店街まで約5分のところに位置しています。管理人も24時間常駐しており、皆さんの安心・安全にも配慮した学生寮となっています。

〒874-0013 別府市古市町25組

最寄りバス停：関ノ江海水浴場前 徒歩5分

※電気使用量（7,000円程度/月）は別途、実費を支払う必要があります。

入寮日の前日までに九州電力と入寮者が直接契約をすることになります。

手続きの詳細は内定者ガイダンスで説明します。

#### 【APハウス4】

オフキャンパスにある学生寮です。APUまでバスで30分、別府駅まで約10分のところに位置しています。管理人も24時間常駐しており、皆さんの安心・安全にも配慮した学生寮となっています。

〒874-0926 別府市京町11-8

最寄りバス停：京町 徒歩3分

※電気代は住居費に含まれます。

### 1 2 . 奨学金

#### 「海外留学チャレンジ奨学金」

本プログラム派遣者のうち「海外留学チャレンジ奨学金」に申請した方で、要件を満たす方全員に奨学金を支給します。本奨学金は、プログラム参加費用の一部を支援することにより、プログラムへの参加・修了を奨励することを目的としています。

給付額：秋学期派遣（1セメスター） 15万円

募集案内の配付：派遣者ガイダンス（7月中旬を予定）

支給時期：2020年10月末に振込予定

### 1 3 . APUでの学生サービス

図書館、課外活動、生協の利用等の学生サービスについては、原則として、立命館アジア太平洋大学学生と同様の取り扱いとなります。

### 1 4 . 辞退

許可発表後の辞退は認められません。

## II. 出願について

### 1. 出願資格

以下の①～⑤の条件を満たすこと。

- ① 法学部、産業社会学部、国際関係学部（国際連携学科を除く）、文学部、経済学部、理工学部（環境都市工学科を除く）、スポーツ健康科学部、生命科学部、薬学部、経営学部、政策科学部、総合心理学部の所属学生であること。
- ② 国内交流派遣の開始時までに少なくとも1学年の学修を終了していること。  
ただし、派遣時において卒業該当回生でないこと。
- ③ 修得単位数が、出願時点までに学修が終了している在学期×16単位以上であること。
- ④ 出願時までに配当されている「卒業に必要な外国語科目」を全て修得していること。
- ⑤ 既に本プログラムに派遣されたことがある者は、出願できない。

#### 【注意】

- ※ 出願書類不備がある場合は、一切受け付けません。
- ※ 留学中、休学中の場合でも出願可能ですが、面接などの必要な手続を行えることが条件です。

### 2. 出願期間

5月13日（水）～5月22日（金）17:00【厳守】

### 3. 出願書類提出先

下記連絡先（メールアドレス宛）に出願書類を添付し、メール送信（出願）すること。

＜メール送信時に必要な項目＞

- ・ 氏名
- ・ 所属学部
- ・ 学生証番号
- ・ 出願書類（添付）

＜出願先（連絡先）＞

Mail:apu-tank@st.ritsumei.ac.jp

### 4. 提出書類

① APU 交流学生出願票

② CAMPUS WEB「履修状況確認」ページ内「履修状況一覧」「科目一覧」「GPA」を印刷したもの

③ 言語運用能力を示す書類（TOEFL、TOEIC、IELTS 等）の写し

※スコアをなくした場合は、出願票の「学内受験 TOEFL-ITP®テスト/TOEIC®テストコア紛失」にチェックして提出してください。学内で団体受験をした最新の TOEFL-ITP®テスト/TOEIC®テストスコアが選考の際に使用されます。

### 5. 選考

所属学部において、志望理由書、言語運用能力、GPA および面接によって選考します。面接の日程については所属学部より本人宛に連絡します。

### 6. 許可者発表

発表日時：7月1日（水）13:00

許可発表 : manaba+R(個人通知)にて発表

## 7. 派遣者ガイダンス

派遣許可者は以下のガイダンスに必ず出席する必要があります。原則として欠席は認めません。

日時 : 7月中旬

場所 : 衣笠キャンパス ※詳細は、許可者にのみ別途通知

## 8. 出願にあたっての注意

ほかに履修しているプログラム等がありましたら、必ず、応募前にそのプログラムを管轄する事務室で交流を希望している期間の履修について、確認を行ってください。APU 交流と各種プログラムとの両立については、十分な履修計画が必要となりますので、事前に所属学部事務室およびプログラムを管轄する事務室にご相談ください。

### 【教職課程履修者】

回生ごとに履修しなければならない必須科目（介護等体験や学校実践研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、教育実習等の教職基礎科目）が配置されています。APU 交流中は、教職課程の科目を受講することができません。必ず、教職支援センターで、交流を希望する期間の履修について確認をしてください。

### 問い合わせ先

衣笠キャンパス学而館 1F 衣笠教学課 (APU 交流担当)

E-mail : apu-tank@st.ritsumei.ac.jp

TEL : 075-465-8310

## 「APUでの履修について」

### (1) 履修の仕組みについて

APU では、1 年間を 2 つのセメスター、4 つのクオーター、2 つのセッションに分けて授業を開講しています。

#### ●春セメスター期

- ・第 1 クオーター：4 月・5 月
- ・第 2 クオーター：6 月・7 月
- ・夏セッション：8 月・9 月

#### ●秋セメスター期

- ・第 1 クオーター：10 月・11 月
- ・第 2 クオーター：12 月・1 月
- ・冬セッション：2 月・3 月

※ 3~4 月の履修登録時期に春セメスター（第 1 クオーター、第 2 クオーター、夏セッション）の履修科目登録を行います。

※ 9~10 月の履修登録時期に秋セメスター（第 1 クオーター、第 2 クオーター、冬セッション）の履修科目登録を行います。

#### <講義科目>

原則、クオーターで開講します。2 単位の講義科目の場合、授業は週に 2 回行われ、2 ヶ月間で完結します。

#### <言語科目>

セメスターで開講します。2 単位の場合は、4 ヶ月間、週に 2 回の授業、4 単位の場合は、4 ヶ月間、週に 4 回の授業があります。

#### <演習科目>

セメスターで開講します。2 単位の場合は、4 ヶ月間、週に 1 回の授業があります。

### (2) APU での受講登録、成績評価

#### <登録単位数>

APU で受講登録できる単位数は、春学期・秋学期派遣の場合は、所属学部・回生の年度内で受講登録できる上限単位数の半数、1 年間派遣の場合は、所属学部・回生の年度内で受講登録できる上限単位数が目安となります。

#### <成績評価>

##### ① 単位認定

APU で受講した授業は、本人による単位認定申請を受けて、立命館大学での所定の基準に基づいて各学部教授会において承認されれば、立命館大学の科目として単位認定されます。（必ずしも申請した全ての科目の単位が認定されるとは限りません）。

同一内容と認められる科目については、立命館大学の設置科目の単位として認定 (T) します。ただし、既にその科目を立命館大学で修得している場合は、単位認定できません。

同一内容と認められない科目については、教養科目（基礎科目、基礎教育科目）、専門科目（演習含む）とも、それぞれ「APU 交流科目」の単位として認定 (T) します。なお、単位認定は留学終了後に行います（RU での申請が必要です）。

※総合心理学部の学生は「APU 交流科目」としての単位認定はできません。

認定申請時には、APU Campusmate の成績照会（画面）の画面コピーが必要となります。

#### APU 交流科目とは？

- ・「APU 交流科目」：教養科目として読み替え
- ・「APU 交流科目（教養または基礎）」：教養科目として読み替え
- ・「APU 交流科目（専門）」：専門科目として読み替えますが、自コース認定か他コース認定かについては科目内容によって個別に判断されます

→ 学部によって、読み替えの基準・ルールが異なりますので、学部事務室の成績担当者に確認してください。

##### ② 単位認定の上限

卒業までに本学以外（大学コンソーシアム京都単位互換科目、立命館アジア太平洋大学、

海外留学、入学前単位認定など)で取得できる単位数の上限は 60 単位です(ただし、編入学、転学等を除く)。学部によって単位が異なる場合がありますので、履修要項で確認してください。

## &lt;受講登録&gt;

## ① 受講登録

WEB にて各自で受講登録を行ないます。詳しくは APU 事務局によるガイダンスにて説明をします。

## 【シラバス・時間割の掲載場所】

シラバス検索：<https://portal2.apu.ac.jp/campusp/slbsskgr.do>

時間割：<http://www.apu.ac.jp/academic/page/content0186.html>

※ 2020 年度派遣の方は「2017 年度カリキュラム」を履修します。

※ 2020 年 3 月上旬までは 2019 年度の情報しか閲覧できません。

## ② 開講言語

講義科目名の後が「J」で始まるクラスは日本語開講、「E」で始まるクラスは英語開講クラスになります。300 番台(3 回生配当)以上の英語開講科目は、受講者の言語能力レベルが、TOEFL ITP®Test 480 点以上に相当していることを前提に行われます。

## ③ 配当回生・前提科目

RU 交流学生は、科目によって定められている「配当回生」や「前提科目」は適応されません。2 回生であっても、300 番台科目(3 回生配当)が履修できますが、必ずシラバスを確認し、自分のレベルに適した科目を登録することを推奨します。

## ④ 英語の言語クラス

原則として、英語科目の履修をすることはできません。ただし、以下の基準を満たしている場合のみ、スタンダードトラックの専修英語科目(「英語ビジネス・ライティング」「英語ビジネス・プレゼンテーション」「英語ディスカッションとディベート」「英語プロジェクト 1」「ジャーナリズムのための英語」)の受講が可能です。履修を希望する場合は、以下のいずれかに該当する言語能力を証明できる書類を提出して下さい。

- ・ TOEFL iBT 61 以上
- ・ TOEFL PBT 500 以上
- ・ TOEFL CBT 173 以上
- ・ TOEIC L330/R325, S138/W134 以上
- ・ IELTS 5.5 以上
- ・ PTE Academic 50 以上

## ⑤ アジア太平洋言語の受講

APU では、英語・日本語以外の第 2 言語として、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語、マレー語・インドネシア語、スペイン語の 6 言語を開講しています。レベルは、I (初級), II (初中級), III (中上級), IV (上級) があります。4 単位科目の場合は週に 4 回、2 単位科目の場合は週 2 回の授業が行われます。レベルによって難易度が異なり、ひとつ前のレベルの単位修得、もしくは履修免除を受けていなければ履修できません。

AP 言語の履修を希望する場合、TOEFL iBT37, PBT420, TOEIC360 点以上のスコアが必要です。AP 言語の履修を希望する方は、「アジア太平洋言語履修希望調査表」を提出して下さい。また、履修免除を希望する場合は、調査表に下記表に定める検定試験の合格証明書を添付して提出して下さい。資格試験のスコアがない場合は、言語学習方法や修得レベルの申告によって申請することができます。調査票提出後、APU で面接を行い、レベルを判断します。

授業科目	履修免除に必要な証明書
中国語 I	中国語検定試験準 4 級、実用中国語技能検定試験準 4 級、新 HSK1 級
中国語 II	中国語検定試験 4 級、実用中国語技能検定試験 4 級、新 HSK2 級
中国語 III	中国語検定試験 3 級、実用中国語技能検定試験 3 級、新 HSK3 級
韓国語 I	韓国語能力検定試験 1 級、「ハングル」能力検定試験 5 級
韓国語 II	韓国語能力検定試験 2 級、「ハングル」能力検定試験 4 級

韓国語III	韓国語能力検定試験3級、「ハングル」能力検定試験3級
スペイン語I	スペイン語技能検定5級
スペイン語II	スペイン語技能検定4級
スペイン語III	スペイン語技能検定3級

#### ⑥ APUにおける演習科目の受講

##### 【2回生演習】

2回生演習科目のAPS調査研究入門もしくはAPS基礎演習の受講を推奨します。必修ではありませんので、希望する場合は自分でWEBでの履修登録を行ってください。事前の申請・手続きはありません。APMについては、2回生演習科目は開講されていません。

	日本語開講		英語開講	
	春セメスター	秋セメスター	春セメスター	秋セメスター
調査研究入門	○	×	×	○
基礎演習	○	○	○	○

\*基礎演習は分野によっては、日本語開講が開講されないセメスターもあります。

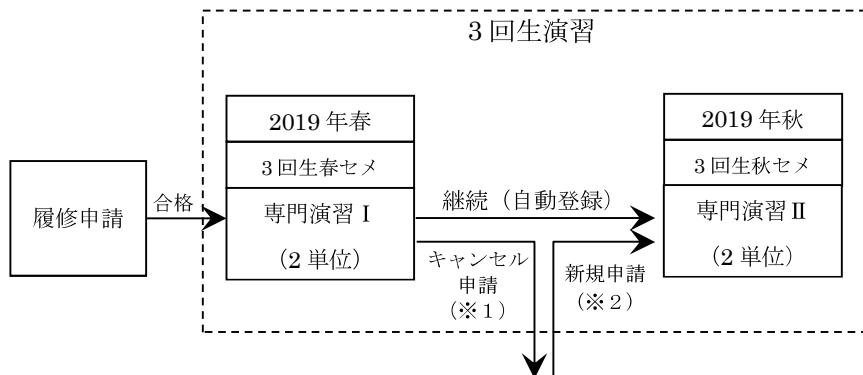
\*上記は開講原則であり、開講セメスターが変更となる場合もあります。

##### 【3回生演習】

3回生の方は、希望する場合は「3回生演習（ゼミ）」を履修することができます。同科目は必修科目ではありませんが、大学院進学や日本国内での就職を考えている学生は、同科目の履修を通じて、専門学習の準備を始めることを勧めます。内容はゼミによって異なりますが、最終的な目標は「深い学習と討論により、テーマについての理解を深めること」です。ゼミでの学習や習得知識・経験を活かしながら、APU留学後の履修計画を立てて行く事を勧めます。なお、APUでの3回生演習はセメスター（半年）ごとに完結します。

##### 演習科目（ゼミ）の履修の流れと単位

春派遣の場合は、下図の流れに従って、専門演習Iと専門演習IIの2科目（合計4単位）をセメスターごとに履修します。



(※1) 1年派遣の場合、次セメスターでゼミの履修を希望しない場合は、キャンセル申請期間（6月下旬）にキャンセル申請を行って下さい。キャンセル申請を行わなかった場合は、次のセメスターでも同じゼミクラスが自動で履修登録されます。

(※2) ゼミクラスを変更したい場合は、一旦キャンセル申請（6月下旬）をすると同時に、希望するゼミへ新規申請を行って下さい。また、春セメスターではゼミを履修せず、秋セメスターから履修を開始することも可能です。

##### 申請方法：

アカデミック・オフィスのウェブサイトに掲載される「受入可能クラス一覧(シラバス)」を確認し、希望するゼミの担当教員と事前に相談をしたうえで、アカデミック・オフィスに申請書を提出します。詳細は、派遣決定後のガイダンスで案内します。